

◆ ケアマネジャーのための情報誌 ◆

ケアマネ SAPPORO

2016.6.1 発行

発行

一般社団法人
札幌市介護支援専門員連絡協議会

事務局

〒001-0010
札幌市北区北10条西4丁目1
SCビル2F

TEL 011-792-1811
FAX 011-792-5140

第100号

- P1~2. 「ケアマネSAPPORO」第100号の発刊を祝って 札幌市長 秋元 克広
P2~3. ケアマネSAPPORO100号記念座談会の報告と歴代会長らメッセージ
P4. 会員推移表／新役員一覧
P5. 札幌市介護支援専門員連絡協議会 平成28年度事業計画・予算
P6. 知っ得(特別授業) 第3回「訪問」北海道医療大学看護福祉学部 准教授 長谷川 聡
P7. 高齢者への消費者被害vol.3
～見守りのポイントと対応手順～ 公社)札幌消費者協会 矢島 希代子
P8. 日本介護支援専門員協会 全国大会(第10回)in北海道について(たいかいだよりvol.4)



「ケアマネSAPPORO」

第100号の発刊を祝って



札幌市長 秋元 克広



このたびは、「ケアマネSAPPORO」が100号を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。介護支援専門員の皆様には、日ごろより札幌市の保健福祉行政にご理解をいただくとともに、介護保険制度の適正な運営にご協力をいただき、感謝申し上げます。

我が国全体が、人口減少、高齢化といった問題の真ただ中におかれている今、高齢者の方々を近くで支える専門職の一つである介護支援専門員の皆様の役割は、非常に重要であると考えます。

195万人の人口を擁する札幌市においても、ここ数年のうちに人口は減少局面に転じると推計されています。

高齢化率は、団塊の世代がすべて75歳以上となる平成37年(2025年)には、30.5%、平成72年

(2060年)には44%まで上昇すると見込まれ、これに伴って認知症高齢者、要介護等認定者、介護サービス利用者の増加も予想されます。

その一方で、平成25年度に実施した「高齢社会に関する意識調査」では、高齢者の約8割が「現在住んでいる地域に住み続けたい」と回答しています。

そうした願いを叶えるためには、支援を必要とする方に適時適切なサービスが過不足なく提供されるよう、介護、医療、その他の機関の連携がますます重要であり、介護支援専門員のマネジメント機能に大きな期待が寄せられているところです。

さらに高齢者が支援される側としてだけでなく、その豊富な経験や知識を活かしながら、生涯現役として社会に貢献できるように、また、介護や支援を必要とする状態になっても、高齢者一人ひとりが尊厳を持って、個々

の有する能力に応じ、いきいきと自立した生活を送ることができるよう、多様な社会参加の機会を作っていくことが重要です。

札幌市では「平成27～29年度札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の中で地域包括ケアの実現に向け、「いくつになっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり」を基本目標に掲げ、高齢者保健福祉に関する施策を次の6つに分けて推進しています。

- ・地域における連携強化
- ・サービスの充実と暮らしの基盤の整備
- ・認知症高齢者支援の充実
- ・介護予防・健康づくりの推進
- ・積極的な社会参加の促進
- ・安定した介護保険制度の運営

介護支援専門員の皆様におかれましては、複雑多岐にわたる高齢者の課題と向き合わなければならないた

め、多くの悩みや困難があることと思いますが、関係機関とのネットワークを大切に、多職種によるチーム支援をお願いしたいと考えています。

今後とも「いつまでも安心して暮らし続けることができるまち」の実現に向けて、お力添えいただきますようお願いいたします。

最後になりますが、1999年から長きにわたり、介護支援専門員の皆様の資質向上にご尽力いただいています札幌市介護支援専門員連絡協議会様に感謝申し上げますとともに、皆様の今後のご活躍、そして日々のご健康とご多幸を祈念しまして「ケアマネSAPPORO第100号」の記念のご挨拶に代えさせていただきます。

～100号を記念し歴代の会長らで座談会を開催しました～ 座談会出席者のメッセージをご紹介します。



札幌市ケアマネ連協 会長 由井 康博

当会発足からの数々のエピソードを伺い、16年という当会が担ってきた役割・歴史の重みを改めて感じました。そして、今の時代に即した①市民に見える事業展開、②専門性の追求、③介護支援専門員の共通基盤の構築、④組織体制の整備という活動指針をより具体的に展開していくことを再認識した次第です。

札幌市ケアマネ連協 元会長 奥田 龍人 (居宅介護支援事業所さいどbyさいど 主任介護支援専門員)

先日、ケアマネSAPPORO100号記念座談会に出席させていただきました。会話の中で、ケアマネジャーという職種がずっと制度に翻弄されてきたこと、その中でも個人個人のケアマネジャーは利用者のために奮闘してきたことが確かめられました。やはり仲間がいたから持ちこたえられたのだと改めて思いました。これからも、大きな制度の改変があるようです。市連協には、愚直に変わることなく利用者仲間を守るスタンスを期待します。

札幌市ケアマネ連協 前会長 村山 文彦 (現 北海道介護支援専門員協会 会長)

熊本地震では、日本協会が発災直後から厚労省や現地と連携し情報収集を行い、職能支援のニーズを分析し対応しています。札幌で災害があったら、私たちケアマネ連協は何ができるのでしょうか。日頃からどのような準備をしているのでしょうか。機関紙100号発行直前に発生した災害から、私たちも危機意識を新たにしたいものです。

札幌市ケアマネ連協 前副会長 斉藤 潤子

新たな1歩が始まります。ケアマネジャーは、言うまでもなく「要介護者やその家族の持つ生活全般の解決すべき課題と社会資源を結びつけることで在宅生活を支援する人」です。

社会資源とは、介護保険だけではないということを認識し、プロのケアマネジャーを目指して誰にも、必要と認められる存在になっていきたいと思います。

札幌市ケアマネ連協 副会長 南 靖子

ケアマネ連協は、医療と介護、子供から高齢者と一貫した地域包括システムにおけるケアマネの立ち位置を確立する役割がひとつありますね。

札幌市ケアマネ連協 理事（南区支部長） 檜森 道子

ケアマネSAPPORO100号を祝し、一言述べさせていただきます。

札幌市介護支援専門員連絡協議会の発足は故 岩見 太市さんを中心に、介護支援専門員指導者研修を受けた人たちが発起人となりできてきたものでしたが、介護保険法が施行され早16年、会に加入された介護支援専門員の人数も次第に増え会員相互の情報の共有や、資質向上に役立てられるようになったことは、当初の目的どおり勤められていることを、安心して見守っていることができます。今後は会員の資質向上と介護支援専門員の社会的認知度を向上させるための団体となっただきたいと期待しております。

札幌市ケアマネ連協 理事（北区支部長／広報委員長）

長崎 亮一

ケアマネSAPPORO100号を節目に、今後はどんどん新しい情報・企画などを広報誌に盛り込んでいきたいと考えております。IT社会の中、色々な介護保険情報も検索にて自分の好きな時に入手できる時代ですが、紙媒体の良さを出せるよう、また、皆さんの業務に直結するお役立ち情報など創意工夫しながら広報委員会としてもケアマネSAPPORO200号を目指し頑張っていけます。

札幌市ケアマネ連協 副会長 乙坂 友広

私は、介護支援保険制度施行時より介護支援専門員として働いていますが、まだ十分に認知されているとは言い難いです。より認知され、“市連協に入会している介護支援専門員なら安心できる”と言われるような、充実した会になるように、今後も研修等の企画に取り組んで行くので、どうぞよろしく願いいたします。

札幌市ケアマネ連協 理事 村中 奈生美

思い出① 厚別区の西友で介護支援専門員のアピール事業数回を行いました。業者さんより紙おむつの試供品をいただき準備しましたが、ほとんど持って行ってもらえませんでした。その頃はまだ、薬局でも大人のおむつスペースは殆どなく、おむつの相談は少し恥ずかしげな時代でもありました。

思い出② 厚別区のケアマネ対象に厚別区支部で「あつケアネット」という機関誌を発行してました。今となっては死語に近いのですが、色々な試みを会員の皆様としてきました。

施行錯誤の時代ではありましたが皆さん[自由・パワフル]で楽しい連協活動の時代でした。

今後については長崎さんも言ってましたが「区支部の活動が市連協の活動に連結したり、支部同士の横の繋がりが強化」必要なのではないかと考えています。私たちも、支部長の皆さんと連携して支部活動を盛り上げていく事が必要なのではないかと考えてます。たとえば、市選出理事がそれぞれ担当区を持って支部長をサポートしていきなんでしょう？

後列 左から

- ・乙坂副会長
- ・村中理事
- ・谷事務局員
- ・檜森理事
- ・長崎広報委員長

前列 左から

- ・南副会長
- ・村山前会長
- ・由井会長
- ・奥田元会長
- ・斉藤前副会長

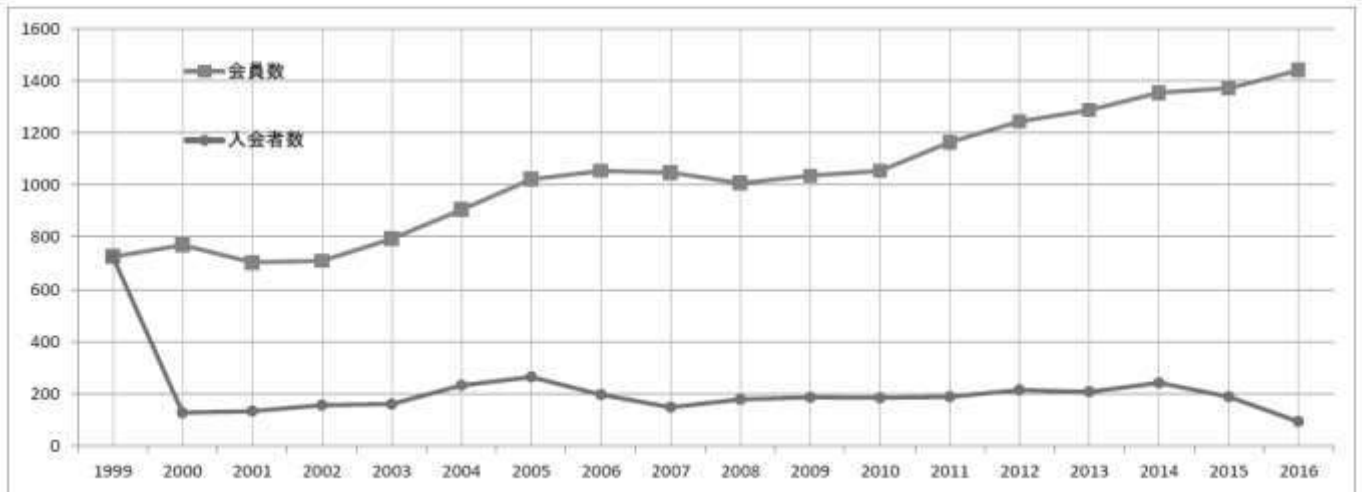


ケアマネ連協発足当時のお話やケアマネSAPPOROの思い出、これまでの介護保険とアマネジャーについて等さまざまな話題が上がり記念するに相応しいなごやかな座談会となりました。

札幌市ケアマネ連協 会員推移表

※平成28年5月20日現在

年度	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28
	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
会員数	726	770	704	710	794	905	1022	1054	1048	1007	1036	1054	1164	1244	1287	1354	1371	1439
入会者数	726	128	134	157	161	233	265	197	149	179	187	185	189	215	208	242	189	94



一般社団法人札幌市介護支援専門員連絡協議会 平成28年度役員一覧

平成28年5月26日の総会で選任されました平成28年度札幌市ケアマネ連協理事・監事等の役員をご紹介します。

役職	氏名	所属
市選出理事	会長	由井 康博 (医) 愛全会
	副会長	南 靖子 (医) 徳洲会 サービス付き高齢者向け住宅徳洲苑しろいし
	副会長 (事務局長)	宮川 亮一 (社医) 札幌協働福祉会
	副会長	乙坂 友広 (社福) 西平和会 五天山園居宅介護支援事業所
		姉崎 重延 (有) プラクティス
		鈴木 晴美 (社福) 札幌市社会福祉協議会
		村中 奈生美 (医) 東札幌病院 指定居宅介護支援事業所ディ・グリューネン
区支部選出理事(区支部長)	中央区	大島 康雄 (同) さっぽろ社会福祉活動事務所 さっぽろ社会福祉士事務所
	北区	長崎 亮一 (社福) 札幌山の手リハビリセンター 居宅介護支援事業所ら・せれな
	東区	尾崎 哲あ (社福) 札幌東勤労者医療福祉協会 勤医協ふしこ居宅介護支援事業所
	白石区	伊藤 和哉 (医) 東札幌病院 札幌市白石区第2地域包括支援センター
	厚別区	勝見 啓志 (社福) 札幌市社会福祉協議会 白石・厚別・清田事業所
	豊平区	和田 賢太 (独法) 地域医療機能推進機構(JCHO) 北海道病院附属居宅介護支援センター
	清田区	飯田 裕一 札幌医療生活協同組合 札幌南青洲病院指定居宅介護支援事業所
	南区	桧森 道子 (社福) 北海道ハピニス 地域事業部
	西区	杉谷 邦雄 (社福) ノマド福祉会 札幌市西区第3地域包括支援センター
	手稲区	藤田 和葉 (有) ホットステーション 温ったか介護ぬくぬく
外部理事	松家 治道 松家内科小児科医院院長/札幌市医師会会長	
	橋本 伸也 藤女子大学人間生活学部人間生活学科教授	
監事	道林 松美 (社福) 慈啓会 法人本部	
	関 靖子 札幌市保健福祉局高齢保健福祉部介護保険課	
相談役	村山 文彦 (社福) 三草会 札幌市東区第2地域包括支援センター	

※平成28年5月26日現在

一般社団法人札幌市介護支援専門員連絡協議会 平成28年度 事業計画

基本方針

市民の市民による市民のための介護文化の創造を目指し、次の4項目を活動指針とする。

1 市民に見える事業展開を図る

介護支援専門員は、どのような役割を持ち、どのようなことをするのか、市民の理解がまだまだ足りない状況にある。

利用者による選択と決定を前提とした介護保険には、成熟した市民社会の構築とそれを支える介護支援専門員の具体的な事業展開が求められる。

そのため、公益的の事業を増やし、市民への働きかけを促進する。

2 専門性の追求を図る

介護支援専門員の存在価値はその専門性にある。そのため、基礎から専門まで一貫した研修体制を確立することを目指す。また、介護支援専門員自らがケアマネジメントなどに関する調査研究を行うことで専門性を追求し、札幌市という風土に合ったケアマネジメントの確立を図る。

3 介護支援専門員間の共通基盤を探り、これを構築する

多職種を受験資格とした介護支援専門員の土俵は「地域」といえる。地域を意識した区支部単位の積極的な活動が求められる。そのため、区支部活動の一層の活発化を図る。

4 一般社団法人としての円滑な活動の推進を図る

公益的の事業を担う責任ある団体として独立した活動を推進するため、規定や事務局の基盤整備、委員会等の機能強化を図ることで、円滑な法人運営の定着を目指す。

事業計画

【会務の運営】

- 1 定時総会の開催
- 2 理事会の開催(年6回程度)
- 3 正副会長会議の開催(必要の都度)
- 4 各種委員会の開催(必要の都度)
- 5 懇親会の開催

北海道、札幌市、医師会、歯科医師会、薬剤師会、ケアマネ協会、MSW協会等との懇談会を開催し、情報の共有化を図る。

【広報活動】

- 1 ケアマネSAPPOROの発行(年6回)
- 2 ホームページの運営
会の紹介、研修案内、札幌市の情報提供、求人広告等の掲載
- 3 会員募集の拡大

【区支部活動】

- (1) 支部定例研修会の開催(各区年4回以上)
- (2) 役員会の開催(必要の都度)

【委託事業】

1 札幌市ケアマネジメント能力向上研修の開催

居宅、施設問わず市内の介護支援専門員のケアマネジメント能力の向上を目的に開催する。

- (1) 全体研修の開催
平成28年9月1日(木) (予定) 札幌コンベンションセンター
- (2) 各区研修の開催
上半期(4月～9月)各区1回、下半期(10月～3月)各区1回

2 札幌市介護支援専門員指導者研修の開催

主任ケアマネ、包括支援センター及び区保健支援係を対象として、地域のケアマネジャーをスーパーバイズできるような知識・技術習得を目的に開催する。

3 札幌市予防給付ケアマネジメント研修の開催

利用者の自立支援に資する予防ケアプランの立案に関わる知識・技術の習得を目的に開催する。

4 札幌市介護支援専門員新任研修の開催

新任期にある介護支援専門員が今後のケアマネジメントが円滑に行えるよう、基礎知識や実践の技術を学ぶ機会として開催する。平成29年3月予定

【自主事業】

1 全体研修会の開催

会員を対象にケアマネ業務に役立つ研修を実施する。

平成28年5月26日(木) 札幌市社会福祉総合センター4F大研修室

テーマ「2016年度診療報酬改定に伴うケアマネとしての留意点について」

講師 北海道医療新聞社 介護新聞編集部 熊谷 知喜 氏

テーマ「日常生活自立支援事業の利用について」

講師 札幌市社会福祉協議会 地域福祉部 自立支援課長 佐藤 朋紘 氏

2 ケアマネ受験対策講座の開催

介護支援専門員資格取得を支援するために開催する。

前期 平成28年7月31日(日) 札幌市社会福祉総合センター4F大研修室

後期 平成28年8月27日(土)、8月28日(日) TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前

夜間 平成28年7月13日(水)、7月20日(水)、7月27日(水)

札幌市社会福祉総合センター4F大研修室

3 市民のための介護保険・ケアマネフォーラムの開催

市民の方々に福祉に関する理解を深めることを目的に開催する。

[27年度同様に札幌市介護保険サービス事業所連協との共催]

平成28年10月13日(木) 札幌市社会福祉総合センター4F大研修室

テーマ「仮認知症の予防について」

講師 鳥取大学医学部保健学科生体制御学 教授 浦上 克哉 氏

4 ケアマネ資質向上研修の開催

ケアマネの資質向上に向けてテーマ別に研修会を開催する。

7月、9月、11月、1月、3月を予定

5 施設ケアマネ向け事業の実施

施設ケアマネに向けての情報交換会・研修等を開催する。

【その他】

- 1 関係団体との連携・共催
- 2 アンケートの実施
- 3 外部委員会、講演会等への会員の派遣
- 4 会員の研究・調査等に対する支援・協力
- 5 日本介護支援専門員協会全国大会(in北海道)に対する支援・協力

一般社団法人札幌市介護支援専門員連絡協議会 H28予算・H27決算

【事業活動収入】

項目	H28予算額	H27決算額	備考
入会金収入	200,000	178,000	入会金
会費収入	5,536,000	5,536,000	年会費
事業収入	1,900,000	1,762,680	研修事業参加費
補助金等収入	5,724,000	5,724,000	研修事業委託費
雑収入	631,600	630,021	広告手数料等
事業活動収入計	13,991,600	13,830,701	

【事業活動支出】

項目	H28予算額	H27決算額	備考
事業費支出	11,522,622	10,841,787	事業活動に伴う費用
管理費支出	1,892,568	1,676,561	法人運営に伴う費用
事業活動支出計	13,415,190	12,518,348	
事業活動収支差額	576,410	1,312,353	
投資活動収入計	0	0	
投資活動支出計	0	0	
投資活動収支差額	0	0	
財務活動収入計	0	0	
財務活動支出計	0	0	
財務活動収支差額	0	0	
当期収支差額	576,410	1,312,353	
前期繰越収支差額	7,070,453	5,758,100	
次期繰越収支差額	7,646,863	7,070,453	

去る5月26日(木)に開催されました平成28年度定時総会にて、各議案が承認されましたことをお知らせいたします。

総会の開催要件につきましては、総会開催定足数が7名以上(総会員数1,4名から賛助会員名を除いた過半数)であり、委任状・書面表決書・当日出席者の総数が名となり有効に総会は成立いたしました。

また、議案事項である、平成27年度事業報告、決算報告は、書面表決承認名、不承認0名、委任状名、及び出席者賛成多数により承認され、平成28年度役員を選任につきましても、書面表決承認名、不承認名、委任状名、及び出席者の信任多数により承認されました。

ケアマネのためのスキルアップ情報コーナー 


知っ得
特別授業

信頼されるケアマネのコミュニケーション 第3回『訪問』

北海道医療大学看護福祉学部 准教授 長谷川 聡
(コミュニケーション学)



ケアマネは利用者の自宅や療養先に訪問して仕事をします。「他人の家を訪ねる」ことをあまりしなくなった今の時代です。信頼を得るコミュニケーションスキルの一つとしての訪問マナーや、仕事のプロとしての「上手な訪問」のしかたを振り返ることは大切です。

予め日時を約束して訪問するのは当然です。しかし、訪問する時刻、つまり開始時刻は約束しても、終了時刻を約束するのを忘れる人がいます。面談や調査にどれくらいの時間がかかるのか、何時頃までにあなたは帰るのか、それを約束しましょう。利用者もあなたも、それによって「次の予定を立てる」ことができます。正確に決められないなら「およそ～分/時間くらい」でも良いし、「遅くとも～時には失礼します」とゆるい約束をします。

終了時刻の確認は訪問時にももう一度、必ず！面談開始時に話し合います。「お時間はどれくらいありますか」「今日は～分くらいかかりますが、よろしいですか」「では～時頃を目途にお話しさせていただきます」などと、最初に！話し合しましょう。あれこれと話したい利用者に、途中で話を遮って中断するのはお互いに気まずくなり、信頼を得られません。長い話に付き合うこ

とも信頼形成には大事な場合があります。その時でも終了の仕方について最初に告げましょう。その台詞は「今日は終電までお付き合いします」かもしれません。

初めての相談・調査訪問で行って見たら、利用者がいわゆる「困った人」だったという経験はありませんか。これからそういうことがあるかもしれません。心得を一つお伝えします。それは「人は3回会って親しくなる」ということです。「三度目の法則」と言って、私が参加した研究グループのリーダーである精神科医の保坂 隆教授が言い出したことです。

ここからは私の提案ですが、この法則に基づいて、初回訪問で困難を感じたら、その時には深い話をしないことです。自分が何者か、なぜ来訪したか、さらっと対応して名刺やリーフレットを置いて、再訪することだけ伝えて帰ります。そして現実には3回目はどうなるかわかりませんが、要は何度もこまめに訪れて少しずつ用件を伝えたり、ニーズを発見して支援できることを伝え、訪問そのものを信頼形成の活動として、長い目でじっくりとお付き合いを始めることが大切です。

会員の皆様へ、ケアマネ川柳 を募集いたします！

当ケアマネSAPPOROの最終ページに掲載しています、編集後記川柳(ケアマネ川柳)を会員の皆様からも募集いたします。掲載された方には、QUOカード1,000円分をプレゼントいたします。

(掲載の有無は広報委員会で選考させていただきます)

応募方法は、会事務局へ、Eメール、FAX、会ホームページのお問い合わせフォームおよび会員専用フォーム等のいずれかで、以下の内容をご連絡ください。

- ・氏名と会員No。(お名前は掲載いたしません。景品をお送りする場合に確認するのみです)
- ・ペンネームとケアマネ川柳(おひとり1作品)

次回ケアマネSAPPORO 8月号の掲載を予定します。テーマは、「夏」です。

締切は、7月7日(木)までとさせていただきます。

お気軽にご投稿いただけますと幸いです☆



E-mail : kouhou@sapporo-cmrenkyo.jp

F A X : 011-792-5140

ホームページ : <http://sapporo-cmrenkyo.jp/>

(札幌ケアマネで検索可)

「高齢者への消費者被害」 ～見守りのポイントと対応手順～

公益社団法人札幌消費者協会 矢島 希代子

最終回は対応手順をご紹介します。

高齢者が発した「被害のきざし」に気付いたとき、声をかけることが第一歩です。高齢者が被害を自覚していないケースもありますので、まずは「新しい〇〇ですか？」と尋ねて購入経緯をさりげなく聞き出すことがポイントです。経緯を聞いても消費者被害がよくわからない場合は、「消費者被害防止ネットワーク」までご相談ください。

被害に遭っていることがわかったら、本人にそれを自覚してもらうことが次のステップです。

しかし、プライドがあつたり販売員を信頼して、なかなか認めない方もいます。同様の事例をお話して、被害に遭っているのは自分だけではないこと、決して恥ずかしいことではないことを伝えてあげてください。

最後に、解約のために消費者センター相談室に相談をするよう勧めてください。相談室への相談は原則契約者本人からですが、隣について励ましていただけると助かります。その際、契約書面を用意して、いつ何をいくらで買ったか、どんなことを言われたかを話せるように準備しておくとなお良いです。

手順をあげると以上になりますが、簡単にいかないことも多々あると思います。契約書面がなかったり、たくさん購入商品で整理がつかなくなったりする場合、必要であれば「消費者被害防止ネットワーク」が高齢者宅を訪問し実態調査を行い、相談室との橋渡しを行ないます。

高齢者自身が相談室へ相談することを望まない場合は、無理強いせず経過を見守る形になりますが、その際は「訪問販売お断りステッカー」や相談室の電話番号を渡していただき、いつでも相談できることをお話してください。



(一社)札幌消費者協会は「消費者被害防止ネットワーク」を皆様と共に進めていきたいと思っております。気になることがあればどうぞご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

皆様からのご相談は「消費者被害防止ネットワーク」へ、
契約当事者からのご相談は「消費者センター相談室」へお電話ください。
「消費者被害防止ネットワーク」 月～金 9:00～17:15 電話 728-8300
「消費者センター相談室」 月～金 9:00～19:00 電話 728-2121

介護支援専門員の各種研修について

研修名	実施機関および連絡先
更新研修 [実務経験者] 専門研修 I・II 主任介護支援専門員研修	北海道総合研究調査会 (略称: HIT) http://www.hit-north.or.jp/care/ TEL: 011-222-7330
実務研修 [試験合格者] 更新研修 [実務未経験者] 再研修	北海道社会福祉協議会 http://www.dosyakyo.or.jp/kensyujiyo/senmonin_kensyu/index.html TEL 011-241-3979 (研修教務課)
介護支援専門員の資格及び手続き等について	北海道保健福祉部高齢者支援局 高齢者保健福祉課 http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/khf/keamane/Keamane.htm TEL: 011-204-5272



『日本介護支援専門員協会全国大会(第10回)in 北海道』

日 程：平成28年10月15日(土)～16日(日)

会 場：ロイトン札幌(札幌市中央区北1条西11丁目)

日本介護支援専門員協会全国大会in北海道 実行委員長 乙坂 友広
(札幌市介護支援専門員連絡協議会 副会長 / 研修委員長)

皆様、お仕事ご苦労様です。

熊本の地震では、現在も避難されている方が多数いる事を思うと、とても心が痛みます。このような災害は、札幌でもいつ起こるかわかりませんので、日頃の備えも必要かと思えます。

なお、日本介護支援専門員協会では、いち早く現地に対策本部を置き、現地入りして直接支援を行っています。詳しくは日本介護支援専門員協会HPで。

さて、今回も10月15・16日に開催される、全国大会in北海道について書きます。

私たち介護支援専門員は、ご利用者の生活に密着した、無くてはならない支援をいつも提供していますが、一般の方はもちろん、関係者の方にも、十分に認識されていない実情があります。

それは何故でしょうか。 守秘義務があるのは勿論ですが、生活に密着した実際の支援を発信する機会がほとんど無いのです。 警察24時や、救急救命24時等はあっても、密着！介護支援専門員・・・なる番組は聞いた事がありません(あったらすみません)

介護支援専門員同士でも、困難事例の話はしても、通常の支援の話はあまり無いと思います。

つまり、皆様の日々の実践が、ほとんど表に出てきていないのです。

今回の全国大会の2日目は分科会になっており、発表する機会があります。

「全国大会の発表なんて・・・」と思われるかもしれ

ませんが、人の生活に差はありません。 皆さんが、当たり前前に支援している内容を、是非ともこの機会に発表してみませんか？

日々、質の高いケアマネジメントを目指して、様々な研修会に参加されている方も少なくないと思います。 日々の実践から言える事を、この機会に是非ともご発表ください。

ちなみに、昨年の全国大会では、「すいか作りの名人との関わりで、介護支援専門員自身がすいか作りのノウハウを伝達された・・・」等の発表がありました。日頃の取組の中から、少し視点を変えると面白い発表になると思います。

今回、札幌市介護支援専門員連絡協議会では、分科会への発表に助成する事を決めています。 自信がない・・・はずかしい・・・等考える必要は全くありません。 皆、ポジティブに考える仲間しか参加しませんから。

そして、全国の仲間を作り、つながりましょう！札幌市介護支援専門員連絡協議会でも、来年度には、実践発表会の開催を企画しています。

皆様の、一つひとつの実践が、他の介護支援専門員の力や勇気になります！

※札幌市介護支援専門員連絡協議会会員は、北海道ケアマネジャーネットワークに所属されますので、北海道ケアマネ協会会員と同等価格で参加申込み可能です。詳細は会ホームページをご覧ください。

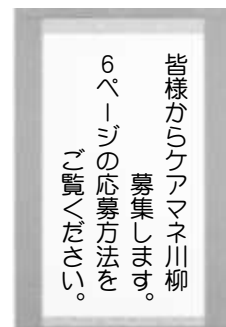
ケアマネSAPPORO100号 (2016年6月1日発行)

発 行 元：一般社団法人札幌市介護支援専門員連絡協議会
編 集：一般社団法人札幌市介護支援専門員連絡協議会 広報委員会

広報委員長：長崎 亮一

広報委員：由井 康博 南 靖子 鈴木 晴美 中野 升
和田 賢太 菅原 正枝 佐賀 正人 藤川 宏子

E-mail：kouhou@sapporo-cmrenkyo.jp ホームページ：http://sapporo-cmrenkyo.jp/
(札幌ケアマネで検索可)



ケアマネ川柳